

CP 通過証明の採否について、
(第 5 回青嶋トレイルラン大会)

今大会の CP の写真を撮って提示し通過証明とする規定の基準に関して様々な意見があり混乱しているとのことで、その事について一報します。

意見①

ゴールインしている選手はほぼ全員、所定場所 (CP) を通過しており、写真に撮ったものが指定物で無くとも通過していることが判るものであれば、通過証明として合格で良い。

意見②

所定場所 (CP) の写真を掲げ、同様の写真を撮って提示するよう指示されているので、所定の対象物以外の物・場所の写真では通過証明として不合格。

実行委員会事務局の裁定は、山中での**不注意が致命傷**となる現実を考えた時、敢て、教育的観点から所定の写真 (CP) を撮っていない方は不合格とします。

所定場所 (CP) を通過している時点では気が付かなかったが旧来の標識の表示を見て気が付き、指定写真の場所ではないが同様の名称だからそこを写真に撮り充当した方が多勢。

当事業団 (特定非営利活動法人) は野外活動・自然体験の知識、技術、経験を推進する事業を行い、活動を通じて自然と人への理解を深め、豊かな人間性を育むことを目的とし学びの場を提供しています。

目的とする場所 CP チェックポイントに近づいた時、所定の CP の写真に該当するものがあるかないか注意喚起し気を配る必要があります。(読図・予察の能力)

今回 不合格となった方々にとって、この大会が次回以降の学びの機会となる事を期待しています。大自然の中ではちょっとした不注意が命取りになった例は数多くあります。

大自然の中での活動は、楽しい自然とのふれあいと同時に、厳しい自然との生死一重の中での活動です。頭の片隅には常に客観的に周りを観察する目を養いましょう。

2020・9・25

第 5 回青嶋トレイルラン大会実行委員会
事務局